

有焯同窓会報

2023年(令和5年)11月25日 発行 第36号

東 西 南 北

様々な人生に触れて

(株)ニュース ラボ(高齢者総合支援 あやとり)
代表取締役

新倉 仁美(昭和47年卒業 東京在住)



小松先生の還暦を祝う集い
前列右から3人目が仁美さん

30数年振りでした。平成16年、弓道部の顧問でいらした小松先生の還暦祝いに元部員有志が集いました。ちょうど東京有焯会の我々の当番幹事を翌年に控えた年でした。これを機に弓道部から3名、幹事として尽力することとなりました。

その後20年ずっと酒田花火大会での集会を続けております。素晴らしい絆で幸せのひとつです。

さて、私は1995年に当初は家庭用品のメーカーとして起業いたしました。当時は5年後の介護保険法施行に向けて、業界でもユニバーサルデザインの需要が高まり、代理店から商品開発を求められておりました。そのため、開発に向けて知人の会社から情報収集をさせていただき、ついには自社にて介護事業に参入する運びとなりました。福祉とは無縁の私でしたが、40歳から福祉の勉強に向けた道を進むこととなります。介護福



サービス付き高齢者向け住宅
ベリーハイムあやとり

社士から精神保健福祉士まで、全ての資格を取得できたことは自分を褒めるしかありません。今では介護保険事業から高齢者住宅まで、「線」で支えられることは最終目標であり、皆さまの人生の最終章に関われることに日々喜びを感じております。

事務局だより
・維持会費2000円は同封の振込用紙で令和6年3月15日まで納入して下さい。お願いたします。
・振込用紙は郵便局とコンビニどちらでも使用できます。コンビニ納付は手数料がかかります。また、郵便局で現金納付する場合は、手数料100円がかかります。
・住所・氏名の変更、物故や会報が届かない等の連絡は、氏名・旧姓・卒業年・住所・電話番号(本人以外の場合は、続柄・連絡先)をご記入の上、同窓会事務局宛FAXまたは葉書でお知らせ下さい。なお、振込用紙に変更事項を記入していただいた際の連絡も可能です。手続きの都合上、電話での連絡はお控え下さい。
〒998-10013 酒田市東原町5-19-15
酒田西高等学校有焯同窓会事務局
FAX 0234(26)6627

あとがき
会報36号をお届けします。今年も新メンバーが2人加わり、がんばってくれました。国宝土偶「縄文の女神」の展示で知られる県立博物館で開催中のプライム企画展を見ました。当時の県内の女子の就学率の高さに驚きました。貴重な品々の展示、本当に素晴らしいものでした。まだ間に合います。ぜひご覧になって下さい。

「やりたいこと」を続けて

声楽家 森 美智子
(昭和50年卒業 東京在住)



演奏会の楽屋で

私が歌を志したのは、「娘が生まれたらピアノを習わせたい」という母の想いからでした。当時、父の友人の島山楽器店のご主人に、「まだ小さいから加藤千恵先生に歌を習ったら良いのでは？」とアドバイスいただいたことがきっかけとなり現在に至ります。初めての発表会「おめめのうた」を独唱したとき「みちこちゃん、お上手ね」と。また、どで多くの先生にご指導して小学校5年生でグノーの「アヴェマリア」を

主人に、「まだ小さいから加藤千恵先生に歌を習ったら良いのでは？」とアドバイスいただいたことがきっかけとなり現在に至ります。初めての発表会「おめめのうた」を独唱したとき「みちこちゃん、お上手ね」と。また、どで多くの先生にご指導して小学校5年生でグノーの「アヴェマリア」を

さんたちの合唱に混じって、ソロをラテン語で歌ったときには、「芸大に行きましょうね」とおっしゃってくださいました。千恵先生の言葉が記憶に残っています。そのまま東京芸術大学声楽科に進学、同大学院、二期会などでも多くの先生にご指導していただきながら歌を続けてきました。現在は、中高一貫校で講師として勤務。また、大学の合唱部

のヴォイストレーナーとして、自宅では子どもたちのレッスン、そして自身の演奏活動など、ありがたいことに音楽に関わって過ごしています。今回、私たちの学年が当番幹事ということで、同窓会で歌わせていただきました。ドイツリート、日本歌曲、イタリアオペラの Aria と、今まで勉強してきたものの中から選曲させていただきました。

アンコールに「私たち世代の校歌をご一緒に」とお声掛けしたとき、皆さまが見事に歌い上げてくださったことに西高の伝統と底力を感じて心から感謝しました。



編集委員

佐藤美智子 (S45年卒) 本間 幸子 (S48年卒) 佐藤 玲子 (S48年卒) 佐藤 美鈴 (S50年卒) 小野寺恵子 (S50年卒) 青山あつ子 (S51年卒) 金子 和恵 (S52年卒) 小松 由美 (S53年卒)



交流の有焯同窓会に

同窓会長 齋藤 眞里子

記録的な猛暑の年でしたが、同窓会員の皆様にはお変わりなくご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃、本会にご理解ご協力いただき、感謝申し上げます。今年度の5月よりコロナは5類に移行され、制限も緩和されました。有焯同窓会や母校の生徒の活動も、今まで出来なかった交流を大切にしたい活動に戻ってきました。

今年度の総会・懇親会は、ホテルリッチ&ガーデン酒田を会場に、



ホテルリッチ&ガーデン酒田で開催された総会

令和5年度役員
会長 齋藤眞里子 (S45年卒)
副会長 須田 和子 (S47年卒) 佐藤 玲 (S51年卒)
常任理事 今野 幸子 (S41年卒) 土門 京 (S42年卒) 岩崎千英子 (S43年卒) 志田多恵子 (S44年卒) 三松 一子 (S45年卒) 表山 裕子 (S46年卒)
渡辺 和紀 (S48年卒) 齋藤 慎子 (S49年卒) 齋藤 美鈴 (S50年卒) 柿崎寿摩子 (S51年卒) 佐藤 優子 (S52年卒) 守屋 良子 (S53年卒) 粕谷万希子 (S54年卒)

校長先生や4名の恩師の先生方はじめ119名での盛大な会となりました。当番学年の皆様にご感謝するところです。卒業40年、30年の理事・評議員にも別途ご案内を差し上げ、参加があったことも特筆すべきことでした。来年度はコロナの感染状況に配慮しながらも、これまでの枠を外し皆様に参加していただき交流したいと考えています。卒業40年、30年の理事・評議員へのご案内も継続し、また、男子同窓生の参加も期待しています。お待ちしております。

名簿発行への協力もありがとうございます。ご意見等については、今後検討してまいります。母校の生徒は、文武両面で活躍しております。定時制の生活体験発表もすばらしいものでした。同窓会では皆様からの会費で応援することができ、大変喜んでいただきました。会員の皆様のご支援への感謝とますますのご活躍を祈念し、今後のご協力を願い、ご挨拶いたします。



県立博物館プライム企画展 「雛人形」展示

校長 高橋 秀典

明治31年、全国に公私合わせて34校あった高等女学校のうちの4校が山形県にあり、本校もその一つです。このたび、県内高等女学校の質の高い教育の歴史を振り返る、県博物館主催のプライム企画展に、戦前から受け継ぐ多くの卒業生を見送ってきた「雛人形」と歴代の制服を着たミニチュア・アンティーク人形、写真を本校から展示しました。ようやくコロナ禍前の活動を取り戻しつつあります。多くの運動部が県大会で活躍し、全日制10名

支部の解散を 惜しむ

全国で活動していた支部の解散の知らせが届き、惜しまれます。解散に際しては支部総会で議決し、残務整理を実施され、同窓会本部にも丁寧にご挨拶いただきました。また、各支部の余剰金をご寄付いただき感謝申し上げます。地区の交流が続くことを願います。

「高等女学校と実科高等女学校 青春の学びと生活」展開催中
9月30日～12月10日
まで山形県立博物館本館でプライム企画展「高等女学校と実科高等女学校 青春の学びと生活」が開催されています。



県内12校で受け継がれてきた貴重な品々の展示で、明治から昭和にかけての女子教育の様子を知ることが出来ます。本校からも「お雛様」など出品しています。ぜひ足を運んでみて下さい。(写真提供 山形県立博物館)

酒田西高に地学部あり。数々の実績と伝統を残す部に入部したのは、厳しい部活に挑戦してやるうという気概があったのかもしれない。ところが、いざ入部してみると、穏やかな柴たん(柴橋先生)と優しい先輩。笑い声の絶えない環境でした。2年生になり、「葉山及び肘折火山の地学的研究」で日本学生科学賞の「読売新聞社賞」を受賞。部長として、京王プラザホテルで常陸宮殿下妃殿下ご臨席のもと授賞式に出席しました。式終了後、数名の記者に囲まれ写真をバチバチ撮られたのには



柴橋先生、校長先生とともに
2列目左から2人目が敦子さん

酒西に地学部あり
森田 敦子

思い出をつづる(25) 酒西21回生(昭和50年卒業)

びっくりしました。後になって、個人で「総理大臣賞」を受賞した方が背中合わせの席にいて、間違えられてしまったようでした。翌日の読売新聞には、私の写真が載り、テレビの「皇室アルバム」にも間違いついでに出た。しまったというおまけ付きでした。

愛しの3年1組

齋藤 由起

大らかで飄々としてちよっと自由な担任滝口元孔先生、若くハツラツ副担任鈴木和子先生の箸が転ばなくてもいつも笑いかけた。3年1組 3年1組 信頼絶大な「クレ」こと西村春美生徒会長がいた 3年1組



日和山公園の噴水の前で
右から2人目が由起さん

夏のインターハイの弓道で優勝した佐藤裕美ちゃんが自慢の一つ部屋に集まり夜どおし熱く語り合った 3年1組 湯野浜強歩や京都修学旅行で合唱コンクール自由曲で赤い鳥の「翼をください」を学校で初めて歌った 3年1組 時には、悲しい事、苦しい事、辛い事、悔しい事もあったはずの 50年経った今、嬉しかったの、楽しかったの、可笑しかったの、善い事しか思い出せない3年1組ですのよ。

目標に向かって仲間と共に

後藤 由美子

当時の夏合宿は各自布団を持ちより教室が宿舎に変身。朝練から夜練まで一日は長く厳しかったが、食事作りや部屋での自由時間は楽しいひとときだった。どんぶりいっぱい食べた豆腐は実に美味しく記憶に残る。私達の学年は13人。ちよとど2つのチームで乱打戦ができるいいあんばいの学年で仲良かった。日頃から部活ノートを書き合い回し読みをしていた。練習やチームのこと、部活への不満、仲間への激励、悩みなどみんながその時々心の内を書き綴った。時には授業中にこっ



弓道部の仲間と 前列左が兆子さん

西高生のときは晴の日も雨の日も自転車遊佐駅に向かい、酒田駅からは、友と歩いて学校へ。机を並べて授業を受け、弁当を食べた。お腹がいっぱいになり、ウトウトと居眠りをしたこともあった。放課後は、校庭の弓道場へ、神棚に向

友

阿部 兆子



バレー部の仲間と 前列中央が由美子さん

い続け日々練習。県ベスト4には届かなかったがチームの勝ち負けよりも目標に向かって仲間と共に過ごした思い出は、卒業から50年経った今も色あせることはない。

①令和4年度通常会計収入 (単位円)	
項目	決算額
入会金	912,800
維持会費	2,587,000
前年度繰越金	2,831,669
雑収入	27
収入合計	6,331,496

②令和4年度基本会計収入 (単位円)	
項目	決算額
前年度繰越金	11,593,893
入会金	228,200
寄付金	230,953
名簿売上金	0
利子	3,292
通常会計より繰入	2,500,000
収入合計	14,556,338

基本会計次年度繰越金 14,556,338円

令和4年度 有燐同窓会決算報告

(令和5年度有燐同窓会会費資料より)

①令和4年度通常会計支出 (単位円)	
項目	決算額
会議費(常任理事会・理事会・編集委員会)	87,145
行事費(総会)	162,346
慶弔費	10,000
旅費(各支部総会出席のための旅費)	0
部活動後援会費	266,320
会報発行費	1,893,606
卒業記念品代	131,120
教育後援会負担金	200,000
通信費	20,034
消耗品費	30,998
振込手数料(維持会費)	255,439
雑費	660
基本会計へ繰出	2,500,000
予備費	0
支出合計	5,557,668

通常会計次年度繰越金 773,828円

令和6年度
有燐同窓会総会のご案内

○日時 令和6年6月8日(土)
受付/午前11時30分より
総会/12時より
懇親会/13時15分~15時まで

○会場 ホテルリッチ&ガーデン酒田
TEL 0234-26-1111

○会費 4,000円(当日持参)

○申込方法 各学年の理事まで

○申込締切 令和6年4月30日

○当番学年 昭和51年卒業生

○実行委員長 柿崎 寿摩子

○問合せ先 TEL 0234-26-3521
(柿崎 寿摩子まで)

心をついに ハーモニー さすが 西高生 池田 禎子

「いま、ここで燐燐」を合言葉に、私たち「50燐燐の会」は参加がかなわなかった同期生の思いを胸に、準備を進めてきました。

昨年、ご努力のあとを手がかりに、ほぼ通常通りの懇親会を模索してきました。お陰さまで、参加を限定した形でしたが119名の出席となりました。

同窓生の皆さまには、旧交をあたためたい、懐かしさ、うれしく楽しい時間をお過ごしいただきたいと、当番学年一同心を寄せ合いました。

また、アンコールで旧校歌の旋律が流れると、全員が歌い始め、涙ぐんでいる方もおられました。心が一つになって、響き合うハーモニーが会場いっぱい広がりました。

長寿会員の祖母の付き添いで出席しました。知り合いがいないう状況で緊張しました。けれども、気さくに声をかけてくださる優しい方ばかりで、懇親会の賑やかな雰囲気を楽しめました。親戚の美智子さんの祝奏の最後、旧校歌を歌った時の皆さんの笑顔が素敵でした。貴重な機会をありがとうございました。

還暦の翌年より少しずつ心の準備をしていた懇親会が、4年ぶりに通常通り行なわれたことにまずは安堵しています。当番学年として、こそぞというときの西高生の団結力、実行力は、さすがです。森美智子さんの歌声もすばらしく、最後の全員合唱はとて感動しました。これも参加していただいた皆さまのおかげです。感謝です。

はじめての有燐同窓会
宮本 麗子
(平成26年卒業)



いとかがや
50燐燐の会の皆さん



祝 奏
独 唱 森 美智子
ピアノ伴奏 森 正
♪シューベルト作曲「春に」
♪中田喜直作曲
「悲しくなったときは」
「サルビア」
♪ブッチーニ作曲
「わたしの愛しいお父様」



テーブルを囲んで、同窓生同士和やかなひととき



恩師を席までご案内



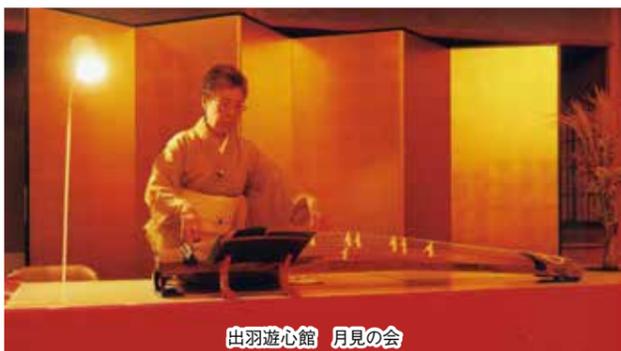
長寿会員のお二人へ花束贈呈



会場受付風景



実行委員長
小野寺恵里子



夢・幻の四百年を越し 私たちは今…

箏・三弦 秋麗会 主宰 高瀬 雅楽秋 (克子)
(昭和35年卒業)

いざさらば 空ゆく雁に
こと問はん 恋しき方に
たまずさを送るよすがの
ありやなしやと
「秋の露」 幕末
夢が浮き世か 浮き世が夢か
夢てふ里に住みながら
「ま、の川」 天保年間
これらは箏曲の代表的古典の
歌詞の一部を抜粋したものです。
この歌詞に曲をつけて歌おうと考
えてみましょう。だんぜん日本の
伝統楽器でなければ、この心情は
表現できないと思いませんか。
私は16歳から箏を習い始めま
した。そう西高入學と同時に
以来よほどのことがない限り弾

とができた時、大きなやりがい
を感じることもできました。
勤務した4年間の中で2度卒
園児を小学校に送り出し、充実
した時間を過ごすことができました。
その後、新たなやりがい
を求め、幼稚園教諭から、現在
の仕事である消防士へと転職し
ました。
「消防士」と聞くと、火事や
救急を思い浮かべると思いますが、
実際の仕事内容は多岐にわ
たります。未然に火災を防ぐた
め、建物の防火上の安全性や消
防設備について確認したり、避
難訓練に向いて指導をしたり
します。また、体調不良や怪我
の応急手当の講習も行います。
やりがいを感じる瞬間は多々
ありますが、特に社会や地域、
住民の皆様の役に立っているこ
とを実感できる時です。私達が
向かう現場には、火事や救急と
いった何かしらの原因で困って
いる人がいます。そこで全力で
その人を助け、「ありがとう」
助かりました」という言葉をも
らった時に、この仕事をやって
いて本当によかったと感じます。
今後も皆様の役に立てるよう
努めていきたいです。

き続け65年の歳月を数えました。
その長い精進の結果、古典曲の
奥深さを知り、演奏技術の修得
と共に、日本民族の音楽に対す
る表現の細やかさを理解しなけ
ればならないと思に至りました。
四季のある日本では、人々は
深く自然を感じながら、自然と
共に生きて来ましたが、音楽にも
自然音を表現しようとするのは
至極当然のことです。衣擦れの
音、小川のせせらぎ、滝の轟音
みな雑音ではありませんが心地良
いと感じます。箏曲には随所に
二度音程や減・増音程など、不
協和音がこれでもかというほど
ちりばめてあります。しかしき
たないとは思えないのが不
思議です。箏曲が数多く生れた
江戸時代は、当然畳の上に座し、
ほどほどの空間での演奏でした。
同じ江戸時代に栄えた茶道の小
さく美しい茶室、私はそれに心
ひかれます。そのような空間こ
その楽器には似つかわしいと
思うからです。時代の変遷で日
本中から畳が消えていく今、古
い民族楽器に似つかわしい場は
なかなか見つかりません。
80歳を越えたと自分の時間が
たっぷりあります。箏の音色を
全身で聴きながら、夢が浮世か
浮世が夢か、私の時間は過ぎ
去って行きます。夢てふ里に住
みながら。

「家のお米で
おやつでもでき
たらいいな」と、
子どもたちが小
さい頃に米粉を
使ってみたこと
が始まりました。
調理師として
食に携わってい
たこともあり、
地域の食材や農産加工などには
関心がありました。縁あって米
農家に嫁ぎ義母が使用していた
加工場が家にあつたことから、
自家産米はえぬきを使用した米
粉のお菓子の販売を始め、今に
至ります。
当初米粉はまだ珍しくレシ
ピも出回っていませんでした。洋菓
子作りを参考に試みたのですが、
似ているようで異なることに
悶々としていました。打開策を
求めて米粉について学び、成分
や粒度、特性などを考慮して家
の米粉に合うように、配合や作
業工程の調整をしてきました。
近年は米粉が身近になってき
たこともあり、おいしいなどの声
や興味を寄せていただくことが
増え、とても喜びを感じています。

安心素材で心が和むようなモ
チーフや風味、質の良さを目指
し「米粉つておいしい!」と思わ
れるような商品作りを心掛けて
います。
主に焼菓子や夢の倶楽やカ
フェ、プリンは山居館、イベント、
予約等での販売。食育活動を通
し、多くの出会いと支えやご縁
に感謝しています。
受け継がれてきた水田、お米
で気軽に菓子作りが作れる時代
になり、幸せだなと過ご日々。
今ある資源を大事に活用し、庄
内平野の美しい風景が次世代へ
繋がることを願っています。
また、新たな可能性や楽しさ
が広がるように、小さな活動を
続けたいと思います。



朝焼けの庄内と四季島

写真提供 齊藤道子氏 (昭和48年卒業)

ふるさと人をつなぐ

薬剤性脱毛サポートに携わって

アテナ美容室経営 佐藤 喜智子 (昭和52年卒業)



10年程前、山形県美容組合
に乳腺外来の先生から依頼があ
り、医師・患者・美容師が一体
となって、全国で初めて「薬剤
性脱毛サポート協議会」が発足
しました。
会は始めに、県に薬剤性脱毛
時のウィッグを医療用と認めて
もらって、助成金を申請し受理
していただきました。これも全
国初です。
薬剤性脱毛サポート美容師は
抗がん剤の副作用に伴う脱毛や
肌荒れなどに悩む患者さんを支
援するために、医師、薬剤師に
よる医療の知識、ウィッグや化
粧品などの専門技術、罹患者の
方々からメンタルの研修を受け
認定試験に合格、更に年に数回
の講習、3年毎の更新講習を受
講し、最新の知識を勉強しなが
ら活動しています。
お客様がいらしての一番大事
な仕事は「傾聴」だと思ってお

ります。脱毛、肌荒れ、
治療に関する不安だけ
でなく、何でも話して
いただけるようにして
います。
その後、ウィッグ選
びのお手伝いや、治療
中、治療後の美容に関
するアドバイスをさせ
ていただきます。ウ
ィッグを準備できただ
けで、治療に前向きに臨め、少
し笑顔になっていただけます。
ウィッグを買っただけで、安
心して一度も被らなかつた方、
せつ々だから、したことな
いヘアスタイルを選ばれる方、
治療後も普段使いで楽しんで
いる方、娘の結婚式に参列するた
めに準備して、逝つてしまわれ
た方：
一瞬でもお客様に寄り添う事
ができたなら幸せに思います。
酒田大火の翌春に卒業し、東
京に行くことが目的で家業の美
容学校に進み、5年後酒田に戻
り、着付やブライダルの仕事も
させていただき、40年以上にな
りました。
動機が単純でも、美容師を続
けていることに自分で驚きます。
ただ目の前のことを、誰かのほ
んの少しの笑顔のために続けて
います。

やりがいの探究 酒田市広域行政組合消防署八幡分署 消防救急第二係長 今野 浩人 (平成13年卒業)



大学では幼児
教育と児童教育
について学び、
卒業後は教育実
習を受け入れて
くださった幼稚
園に就職しまし
た。当時、男性
の幼稚園教諭は
まだ珍しいもの
でした。
幼稚園教諭と
いう仕事にやり
がいを感じた瞬
間は、子どもの
成長に自分も携
わることができ

「家のお米で
おやつでもでき
たらいいな」と、
子どもたちが小
さい頃に米粉を
使ってみたこと
が始まりました。
調理師として
食に携わってい
たこともあり、
地域の食材や農産加工などには
関心がありました。縁あって米
農家に嫁ぎ義母が使用していた
加工場が家にあつたことから、
自家産米はえぬきを使用した米
粉のお菓子の販売を始め、今に
至ります。
当初米粉はまだ珍しくレシ
ピも出回っていませんでした。洋菓
子作りを参考に試みたのですが、
似ているようで異なることに
悶々としていました。打開策を
求めて米粉について学び、成分
や粒度、特性などを考慮して家
の米粉に合うように、配合や作
業工程の調整をしてきました。
近年は米粉が身近になってき
たこともあり、おいしいなどの声
や興味を寄せていただくことが
増え、とても喜びを感じています。

幸せを運ぶお米のお菓子

菓子工房ハーftime経営
松本 麻里 (平成5年卒業)

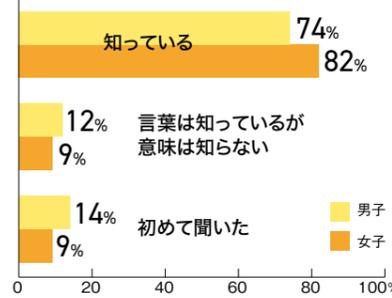
安心素材で心が和むようなモ
チーフや風味、質の良さを目指
し「米粉つておいしい!」と思わ
れるような商品作りを心掛けて
います。
主に焼菓子や夢の倶楽やカ
フェ、プリンは山居館、イベント、
予約等での販売。食育活動を通
し、多くの出会いと支えやご縁
に感謝しています。
受け継がれてきた水田、お米
で気軽に菓子作りが作れる時代
になり、幸せだなと過ご日々。
今ある資源を大事に活用し、庄
内平野の美しい風景が次世代へ
繋がることを願っています。
また、新たな可能性や楽しさ
が広がるように、小さな活動を
続けたいと思います。

制服のジェンダーレス化

生徒課長 五十嵐 洋

ジェンダー（社会的・文化的性差）への理解や性的役割分業のないワークライフバランス、LGBTQ など、多様性の社会情勢の中、制服のあり方も全国的に注目され、本校でも「ジェンダーレス制服」導入に向け令和2年度より動き出した。

「ジェンダー」という言葉を知っていますか？



まずは全校生徒に対し意識調査を行ったが、ジェンダーに関する言葉に違和感を感じ取る生徒が多くいることがわかった。「男だから」「女のくせに」といった言葉に疑問を持つ生徒は男女とも全年次にわたって多く、特に女子の割合が高い。少数だが、男女問わず見た目の捉え方については寛容になり、性別を超えた個性の尊重が浸透しているのではないかと、この回答もあつた。スラックスについては、自転車通学での利便性への意見が多かつた。

こうしたアンケート結果を踏まえ、ジェンダーレス制服導入に向け、生徒会執行部、校内服装検討委員会にて次の課題を検討した。

- ① 女子のスラックスに合うブレザーのマイナーチェンジ
- ② リボン・ネクタイの選択自由

そして、令和5年度入学生から「標準服」のブレザーを導入し、ネクタイ・リボン・スカート・スラックスについて、男女ともに選択が自由となった。

現在、女子のネクタイ着用率は高く、選択の自由を楽しんでいるようだ。女子のスラックス着用数はまだ少ないが、制服である

より自分らしく
3 年次 後藤 日菜乃

ジェンダーレス制服の導入により、スラックスをはく人、ネクタイを付ける人を多く見かけるようになりました。自分で選択した制服を着られるため、より自分らしく生活できるようなったと思います。様々な人がいるいろいろな場面での性（ジェンダー）に関して嫌な思いをすることなく、自分らしく生活できる社会になってほしいと思います。

- 全国大会出場・入賞おめでとう！
- ◎全国高等学校総合体育大会 弓道個人 熊谷 幸瑠 7位入賞
 - ◎ポトシシングルスカル 白畑知奈乃 阿部 遙斗
 - ◎ポトシ 熊手付キョオドルブル 池田 大吾 池田 朔
 - ◎五十嵐夢輝 佐藤 海斗
 - ◎佐藤 颯 大塚 彪峨
 - ◎菅原 大知
 - ◎全国高等学校総合文化祭 美術 佳乃 村上ひより
 - ◎文芸 阿部 未羽
 - ◎全国高等学校定時制通信制体育大会 陸上
 - ◎卓球 佐藤慎太郎
 - ◎バドミントン 五十嵐貴人 工藤菜々美 佐藤 陽菜

企業内 RD 環境
ミーティング開催
RDD in 酒田西高実行委員会委員長
2 年次 土門 知生

3月19日（22日）に「第2回全国高校生RDDサミット in 大阪明星高校」に参加し、多くの方々との交流することで視野を広げることができました。全国には当事者となった後でも働き続けることができる職場が多くあると聞き、酒田にもそのような企業があるのかとの疑問から、8月19日にミライニで「企業内RD環境ミーティング」を実施いただき、働きやすい環境について様々な意見や提言が出されました。これらの意見を踏まえ、12月の第3回神戸サミットでは積極的に発言してきます。

※RDD (Rare Disease Day) は希少・難治性疾患の日の頭文字です。酒田西高ホームページにその活動が詳しく紹介されています。ぜひご覧ください。

令和4年度 進路状況 (人)

進路	人数	進学先
国公立大学	13	新潟大学・山形大学・秋田大学・福島大学など
私立大学	61	東北公益文科大学・東北芸術工科大学など
国公立短大	7	米沢女子短期大学など
私立短大	7	東北文科大学短期大学部など
専門学校	32	酒田看護専門学校など
大学校	2	県立農林大学校など
公務員	8	酒田市役所・東北税務など
民間就職	2	酒田海陸運送・木村屋
合計	132	

定時制だより



スポーツレクリエーションでの集合写真

今年度は生徒数53名でスタートしました。新型コロナ感染症5類移行に伴い、コロナ前のように活動できるようになりました。6月に鶴岡市を会場に行われた県高校定時制通信制総合体育大会では、卓球男子シングルス、陸上男子1500m、走り幅跳びでの優勝、バドミントン男子シングルス準優勝等大健闘し、3競技で8名の選手が全国大会への切符を手にすることができました。また、生徒会行事として、7月に前期スポレクを開催しました。バレーボールに加えモルックへの挑戦等、生徒達自ら考え、企画準備し、生徒と教職員全員で楽しく有意義な時間を過ごすことができました。今後も主体的に様々なことにチャレンジしていただけることを期待しております。

須階ときを さんを知っていますか

昭和46年～54年 日本史 阿部 博行先生



私は今、来春に閉校となる鶴岡北高等学校の学校史を書いている。さまざまな資料を見るなかで、印象に残る教師が明治末から昭和初めまで17年間音楽を教えた須階ときを先生である。

須階（敬称略）は酒田高等学校第6回卒業生で、『同窓会名簿』には須貝と誤記、在校中の音楽教師が奥好義である。奥は45歳で赴任、指導は厳しく点数も辛かったが、7年間の教員生活で、成績甲は須階だけで、東京音楽学校を受験したとき、だれに音楽を習ったかと言われ、奥先生と答えると、それなら何も言うことはないと言われたという。奥は地域への音楽普及にも熱心だった。

鶴岡高等女学校の多くの教員たちは須階のピアノ演奏と独唱を思い浮かべ、凛として格好

お元気ですか

も頭もよく憧れの的だったこと、いつも真っ白い半衿で、「ホワイト先生」と慕われたことをほのぼのと回想している。

須階は1927（昭和2）年、倉敷高等女学校に転勤、その後、朝鮮に移住し、1932（昭和7）年、京城で亡くなった。

須階は奥と同じく地域の音楽普及にも尽力した。『鶴岡市史』下巻に、第1回荘内音楽会の開催を主導した須階の記事がある。また、1939（昭和14）年の全国吹奏楽コンクールで最優秀賞に輝いた東京の尋常小学校の指揮者が、鶴岡郊外の黄金村出

身で、音楽に精魂を打ち込んだ動機は須階から指導を受けたことと、いささかでも報い得たことと喜んでいたいという。

酒田高女・酒田西高校は優れた音楽家・音楽教育者を輩出した学校である。奥好義以来の伝統が脈々と受け継がれていってほしいと思っている。

※奥好義は1880（明治13）年、宮内省雅楽部の楽人として「君が代」を作曲した。楽譜には楽長林廣守の名がある。明治から昭和まで音楽界で活躍した著名な作曲家。作品多数。酒田高女には明治36年12月から43年12月までの7年間在職した。旧校歌は奥好義の作曲である。

空想の教室

昭和62年～平成13年 世界史 渡部 芳雄先生

教壇に立つてまだ間もないころ生徒の一人がアメリカの高校に留学することになった。出発に際し二つのことを頼んだ。一つは、向こうで使っている歴史の教科書を一冊譲ってもらうこと。いま一つは歴史の授業の有様を観察してくること。成果は上々、というより小さからぬカルチャーショックを受けた。教科書は作



りも堅固でページ数は日本のそれの2、3倍。写真や図版も多く、要するに暗記する教材ではなく資料として作られている。エピソードも散りばめられており読んで楽しい。父母の経済的負担とカバンの重さを心配した

が杞憂であった。教室備え付けで少なくとも数年は使うという授業はこんな場面もあるらしい。例えば「マリー・アントワネットは悪女なりしや？」との主題のもとクラスを肯定派・否定派に二分して討論させる。「発言しない人は存在しない人」という雰囲気浸透している国柄、生徒は必死になって各種の文献をあさる。教師はその数倍のノール賞の過半をさう活力の源泉はこのあたりにあったのか。

最近、旺盛な開拓者魂

藍綬褒章受賞



杉山 みさ子 さん (昭和47年卒業)

令和4年秋の叙勲で「藍綬褒章」を受賞されました。2019年まで24年にわたり民生・児童委員を務められ、地域の方々の相談に向き合われた功績が認められました。今春には皇居訪問もなさったそうです。ますますのご活躍を。

お悔やみ

北村尚史先生が4月1日に逝去されました。85歳でした。昭和54年から平成6年まで15年間在職され、新校章のデザインもなさいました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



「学舎三代」より